

県大会出場各チーム監督へのお願い

1. 開閉会式は行わない。会場に到着後、必ず監督が本部で受付を行うこと。この際、コンポジションシートを提出すること。
2. 開場後、コートを使った全チームでの練習を許可する。その後、競技委員長が定めた時間により、第1試合のチームのみ20分間コートを使って練習することができる。
3. 第1試合のプロトコールは試合開始時刻の11分前に行う。第2試合以降は、コート点検及び消毒作業終了後、20分開けてプロトコールに入る。
4. 各大会は、日本バレーボール協会競技規則に沿って行う。
5. 両日とも、第1試合のラインジャッジ・得点・記録・リベロチェックは、各コートの第2試合のチームから5名ずつ出すこと。また、2日目第2試合の補助役員は、第1試合のチームから5名ずつ出すこと。
6. 試合の際は、監督・コーチ・マネージャーは所定のマークを必ずつけること。外部指導者については、参加申込書を提出する際に申請すること。
7. チームスタッフの服装は、関東大会に準じて、ハーフパンツ（足が見える服装）は認めない。（学校代表も同じである）
8. 貴重品は各チームで責任をもって管理すること。
9. 落とし物、忘れ物のないように留意する。忘れ物については、県本部で保管し、3日間連絡がない場合は処分する。
10. 施設・設備の破損には十分注意する。破損した場合は各チームで責任を持つこと。また、会場責任者、もしくは県本部役員に連絡すること。
11. ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。
12. 出場チームにはプログラムを2冊配布する。事前に申し込んだ冊数分、受付にて料金を支払うこと。
13. 外部コーチ承諾書は、大会当日に受付で提出すること。
14. 外部コーチは、いかなる理由があろうとも、審判の判定や大会運営等に、発言権は認めない。
15. 試合前のコート練習は、各コートの競技役員のコート点検後、審判員の指示を受けてからコートに入ること。
16. ユニフォームは、日本中体連競技規則に則って取り扱う。靴下についても同様である。
※ユニフォームは上下ともにすべて同じ物であること。靴下は、くるぶしソックスは認めない。色は同じ。
17. 各チームともに、今大会における「新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン」（別紙）を熟読し、このガイドラインに従って行動すること。
18. 今大会は1チームあたり、選手12名、マネージャー1名、監督・コーチ・学校代表・記録員（各1名）の計17名の入場を認める。入場の際には健康チェックシートを提出すること。